

定価一冊五銭... 発行所 常吉白新聞社

創作 空地

飯田俊輔

空は明るく澄んで、雲さへ浮いて居ない様な日であつた。

私は、四人の友達と河岸通りを歩いてゐた。それは活動を観に行くと云ふ心持なので、誰の心の中も晴々として喜びに慄へてゐた。殊に、常吉などは頓狂な性質なので、騒ぎ過ぎる程騒いでゐた。笑ひが彼の顔から絶えなかつた。常吉は服を着てゐた。しかしその服も古びて薄汚なかつた。細長い身体格好で顔も決して丸顔の方では無く、むしろ長い方で、眼がどんぐり形に光つてゐた。

「飛行機だ、確かに飛行機だ。聞える！ プロペラの音に違ひねえな」

「俺にも聞える」 と龍一が云つた。田舎者の子で今は私達の隣の町の齒醫者の家へ養はれる色の白い華奢なしかし強い所のおる少年であつた。

「あゝ、見えた！ あれ、あんなに高く飛んでゐる」 「お、あれ飛行機だ！」

「今日のは重ちゃんの良いな、のる臭くなつてしまつた。」

「出るさ、妻三郎だらう、あいつが出ないなら俺ア見ないよ——龍ちゃん、あんただつて、妻三郎好きだらう？」

「や、聞えるぞ——聞えるぞ。」 と常吉が云つた。 「え、なにが——」 と朝次郎が訊いた。

人を斬る真似をすると、重男や朝次郎は、手を叩いてはやし立てた。しかし私と常吉は、じつと真面目臭つた龍一の表情を視た。輕蔑が胸に湧いて来る。

「龍ちゃんは型が上手いなア」 歩き出してから、朝次郎が云うと、眼玉を光らしながら常吉は何んと思つたか斯う言つたのだ。

「俺が役者の子供だ！」 龍一はむつとした。 「役者の子ちやねえか!!!」

「なにがどうした、ツンツン常！ どんぐり矢郎！ 馬鹿！」

「言つたなア！」 龍一の叫ぶ聲が四邊に響いた。皆はおどろいて止めやうとした。龍一は路傍に轉がつてゐた竹棒を手に取つて握ると、常吉を擲らうとした。

「やだれ垂らし！」 「言つたなア！」

有給外務社員名募集 経験の有無、男女ヲ問ハズ奮闘家ヲ望ム

是非! 御融通には御利用下さい 萬事便利な御相談に應じます

喜多流謡曲と仕舞の お稽古をお勧め致します

旭硝子株式会社製品 板ガラス

松崎硝子製作所 支工場 仙臺市榮町(電五九七番)

34年型新車購入 春! さくら咲く四月 快ろよい微風が頬をかすめて

玉屋洋品店 店員募集 年齢十五、六才、希望者は至急来店あれ

MSカメラ 春とカメラ 何んといふ愉快なひとでせう。

# 平地方で一ヶ年に

## 六十万圓が煙となる

### 水戸に次いで第二位の巨額

### 町村別では流石平が最高

#### 煙草消費高

水戸地方専賣局 平出張所管内に於ける昨年度の成績は小賣人員が六百八人、これら小賣人員の總賣上高は五十九萬九千九百四十七圓十八錢の巨額に達した。つまり平地方で約六十萬圓を煙にするわけで水戸局内二十一ヶ所中に於いて水戸の六十二萬圓に次いで第二位の成績を示してゐる。この巨額を平管内の人口(勿論生れたばかりの赤ん坊をも含めて)に割ると一人三圓二十二錢三厘の煙草を一ヶ年に消費することになる。尙各町村の小賣人賣上高一人當消費高の細別左の如くである。

小賣人 賣上高 一人當消費高

泉 二 九四三六六 二三三〇  
渡邊 七 二八四〇八 二三三〇  
上遠野 一五 一〇〇三三 二二八六  
入遠野 二 一六〇三三 一五二七  
石住 三 一六三三三 四四〇五

二師團長官 東久邇  
平驛御通過 第二師團長官は御上京の爲今二十八日午前二時二十二分、平驛を御通過遊ばされた列車

つた結果左の如く決定した  
△會長平澤勝次郎(平)△  
會長面川龜之助(四倉)△  
會計佐藤榮一(平)△幹事  
植頭龜松(平)外八名

### 町長と委員出仙

### 不許可の猛運動

#### 尖鋭化する地下採掘問題

平町では過般磐城炭礦より出願された平町地下採掘問題に就いて去る廿六日役場會議室に委員會を開き具體案を協議した結果來月四日に青沼町長外、井上、野崎、萩原、馬目雅、關内、多田、井、猪狩の七委員が出仙し仙臺礦山監督局に反對の陳情を行ひその結果によつて具體的な行動を執る事になつた。

### 御親閱記念事業を

#### 光榮に感泣した校長等協議

#### 郡下校長會の協議題決定

石城郡下小學校校長會は來る三日午前十時より平第一小學校に於いて開き左記事項に就いて協議するが當日は

古川縣視學が臨席される筈で終つて懇親會を催すと

- 一、御親閱記念事業
- 二、本部教育是制定

郡下各小學校を巡視する  
三十日植田、五月一日小名濱、二日四倉、三日郡下小學校長會臨席、四日平三小學校、五日澤渡

### 水道斷水

#### 今夜才樋小路地内

平町水道部では本日才樋小路地内の消火栓取付工事を爲め同区内は今晩九時より明朝一時迄水道の斷水を行ふと

### 廿一週年を迎へる平商

#### 五月十日の記念日に際し

#### 全校生の一萬米マラソン

平商業學校では來る五月十日開校二十一週年記念日に當るので校長の講話後全校生の校間一神谷間往復一萬米マラソンを舉行すると

### 磐中對平商競技戦

#### 明日磐中グラウンドで舉行

磐中對平商の對校競技會は明日二十九日午前十時より磐中グラウンドに於て行はれるが競技種目は左の如く本年度最初の對抗戦だけに各方面より人氣を集めてゐる

認に就いて協議し終つて懇親會を催す

第三方面の 石城郡 教務主任會 第三方面 教務主任會は來る五月八日平第一校に於て開き九年度の事業其他に就いて打合せを行ふ

土木監督所大勝 平土木監督所對夏井川改修事務所の野球戦は昨廿七日午前十一時より商業學校グラウンドに於いて行はれたが十二對四の成績で土木監督所が大勝した

### 郷軍平分會評議員會

#### 平町在郷軍人分會では來る

廿九日午前十時より松ヶ岡公園が春木亭に於いて、分會員會を開き八年度決算の承認

### 磐女關西方面

#### 修學旅行隊より

二十四早朝旅行隊一行百六十一名、多數先生始め父兄等の見送を受けて天氣に平驛を出發、車中無恙、車窓に映る若葉をなつかしみつ、一路鎌倉に着、時に午前十一時二十五分、先づ鶴ヶ岡八幡宮に詣で、往時

### 通信

#### 磐女關西方面 修學旅行隊より

#### 第一信

の銀杏樹を偲び、鎌倉宮に詣でては感慨轉た切に悲憤の涙禁ざる能はずして低徊去るに忍びず、長谷寺、露座の大佛、稻村ヶ崎、七里ヶ濱等何れも一行をして往昔の歴史の路を偲ばしむる事切なり。このより朝來の春雨いよゝ烟りて、雨

#### 第二信

垣武天皇の都し給ひてよ、りこゝに一千有百年、平安文化の中心地たる京都の山紫水明と風景の優雅瀟灑せん爲に、朝八時宿を出で、知恩院、東西本願寺、京

# 前科三犯の賊

## さのふ平署に自首

### 嚴重な捜査網に観念して

當時住所不定宮城縣名取町玉浦村大字寺島字濱里生れ窃盗前科三犯武田清太郎(三)は本月十八日宮城刑務所を出獄した足で平地方に流れ込み平第三小學校教員の自轉車一臺外商業學校其の他より數件の窃盗を働いたが其後平署の捜査が益々嚴重となつたので逃がれぬ處と観念して昨廿七日夜平署に自首して出た

行日割を左の如く決定した(五日)北白銀 仲間町 鎌田 立町 堤ノ内 月見町 大工町 南白銀 三丁目 四丁目 五丁目 新川町 南町 東部鐵道官舎 大町(六日)長橋町 研古 紺屋町 田町 一丁目 二丁目 材木町 鍛冶町 南町 西部久保町 胡摩澤 才樋小路 舊城跡 八幡小路 北目

## 赤井村推肥指導

### 青山技手出席

# 平町春季衛生掃除

平町の春季衛生掃除は來月五、六兩日と決定したので町役場では本日市内各町の執

走井農事實行組合では卅日から二日間の組合員の推肥實地指導を行ふが講師として郡農會青山技手が出席する

# 菅本平商友會長

## 突如辭表を提出

### 家事都合を理由として

### 辭意固く結局承認か?

平商友會長菅本利雄氏は突如家事都合の理由で二十六日付で室橋副會長及び矢野顧問の兩氏に辭表を提出した

同氏は故谷口會長時代に會計として全會員より信望篤かつた人で谷口氏の逝去に伴ひ會長に就任その間商友會の向上改革

に盡瘁してきたものである。同會では今回の辭職願に大いに驚き取敢へず室橋副會長、鈴木幹事、宮川會計の三氏が個人的に辭表撤回方を極力勸告したが辭意既に堅いので止むなく來月早々幹事評議員會を招集して辭表受理に就て協議すること

# 福島安田銀行

## 旅行隊來郡

### あす平地方の名所舊跡を見學

福島市安田銀行支店員十三名はけふ午後六時十三分着列車で來平、住吉屋本店に一泊明日は自動車にて沼ノ内辨財天、鹽屋岬燈臺、江名、小名濱兩港灣、勿來關趾、入山、磐炭兩礦を見

# 櫻吹雪を浴びつゝ

## レコードコンサート

### けふ松ヶ岡公園で試演

平蓄音機商組合では日本コロムビア蓄音機會社のサウンド・トラックを招き午後一時より公園内常磐亭前で行つた新譜の披露演奏を行つた

# 石城聯合青年

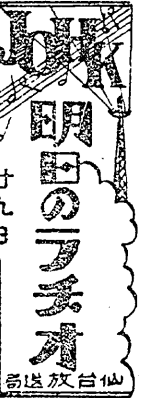
## 春季總集會

辯論大會も舉行石城郡聯合青年團では來る三十日午前十時から磐城中學校に於て春季總集會を開き豫算決算を附議、役員改選を行つて後辯論大會を催すが出場辯士十名であると

一、丁巳青年總會 平町一丁目青年團では二十八日午後六時から旗亭谷口に於て總會を開き役員改選その他協議をなす

## 女青大會へ

第八回縣下聯合女子青年團大會は來る五月十八日福島市教育



# 明日のラジオ

廿九日

今夜は南西の風 天氣良し明日は北西風晴曇半す

## 今晚の部

後六、〇〇(子供の時間) 長唄 阿部つね外大勢 後六、二五 漢文講座(七) 菅谷軍次郎 後七、三〇 時事解説 後八、〇〇 舞臺うらおもて座談會 第二回

## 明日の部

前八、三五 奉祝唱歌 女

子放送合唱團 前八、四五 天長節觀兵式御模様(佐々木練兵場より中継) 天長節奉祝極東諸國交換放送 後六、五〇 國內アナウン 後一、〇〇 マニラより 後一、一五 ジャバより 後一、三〇 シヤムより 後一、四五 滿洲より 後二、〇〇 日本より並國内アナウン

後二、四〇 野球試合實況(帝大對明大)神宮より中継 後六、〇〇 子供の時間物語 後六、二五 産業ニュース 後七、三〇 ビアノ獨奏「月光奏鳴曲」原智恵子 後七、五〇 獨唱 原信子 後八、一〇 長唄「外記節石橋」吉住小四郎外大勢 後八、四〇 舞臺劇 市川左團次外

## 鈴木教諭 警中教 帝大入學

鈴木教諭は此程退職東北帝大理工科に入學することになつたが出發は來る三十日午後一時五十八分である

## 特別列車で

平商學の遠足 校では來る五月四日臨時列車を仕立て川前方面に遠足を行ふと

## 第三校で 温室を設置

平第三小學校では今回同校中庭に二坪の温室を建設し理科教材用の温室植物を栽培することになつた

## 警女旅行團歸校

去る二十四日出發した警女の關西方面修學旅行團は今二十八日午後七時四十六分平着で歸る

# ウキンド裝飾競技

## 審査委員會

### 審査員の顔觸れ決定

いはき新報社主催第四回店頭並にウキンドウ裝飾競技大會は去る十六日より二十七日までを以て審査終了し今二十八日午後七時より常磐銀行平支店樓上に於いて審査委員會を開くが審査委

員及び賞品は左の如し(審査委員)諸橋久太郎 鈴木邦三郎、加藤丈夫、近藤廣記、酒井英吉、佐々木龍若、長島菊苗、千葉彦治、藤田榮助、加藤正保、清野キヨ、鯨岡久

平職業紹介所報告 回人を求める方 △線糸工 十三才：三十才 尋卒 日給廿五以上 △三助 三十以下 月四五圓 △女中 二十前後 尋卒

△自動車助手 十七才 高卒 月三圓位 回職を求める方 △土工夫 廿九才 尋卒 給料面談 △雑役夫 三十才 高一修 給料面談 △會社雜役 廿三才 高卒 給料面談 △女中 廿二才 尋卒 給料面談

# 木村外科醫院

門專 科病柳花 院醫科外村木

際橋目丁六町平 りあ便の院入炊自

〇九三話電

# 近新音頭

(禁衛軍上校及上級)

田邊南龍(作)  
山本英春(書)

—一七—

切られて分らぬ

ある夜、鶉組の白腰の吉兵衛といふ男達が鶉権兵衛が二丁目の大松屋に遊んでゐるので其處へ行かうと思つて急いでくると片手に提灯を提て、ブラリ／＼と吉原を差して行く若い武士がある、すき透るやうな美聲で加賀節を唄ひながら行く

「誰だか知らねえが羨ましいやうな美しい聲の奴だか面を見てやらう」  
と尙も急いで来る

「よしやわざくれ、身は朝顔の日影待つ間の、花の色」

「モシお武家さん失禮ながら美しいお聲でござんすね」

後から吉兵衛が聲を掛けた途端に、ヒョイと振返つた平井権八

「オウ貴所は……」

と云はせも果すエイトツ抜き打ちに斬つた、吉兵衛の胴體二ツになつて土手から轉げ落るのを振返つても見ず

「怨みられしも怨みし人も共に消え行く野邊の露」

と唄ひながら悠々と仲の町へ入つて来た、丁度二丁目の大松屋の前を通り掛ると、吉兵衛の兄の鶉の権兵衛が、薬者帯間を上げてワ

イ／＼騒いでゐた、それ

見ると権八ムラ／＼と威氣を起して、ズツと大松屋の店へ入つて来た

「権兵衛様、つかん事を伺ふやうだが、白腰吉兵衛とか云はれるのは貴公の御舍弟ではなかつたかな」



としらを切つて聞いた  
「之ア平井さん、仰しやを通り吉兵衛は私の舍弟に違ひないがそれが何と致しました」  
と権兵衛かけげんな顔で聞きかへした  
「イヤ夫は大變、只今人の

りムク／＼と肥つてゐた。六月中旬の事で日本橋の魚市場を魚を荷つて来た歸り裸體で盤臺を擔いで行くのを中橋で権八が圖らず見掛ました  
「能く肥つて奴だな、今まで随分人も斬……が斯うも

噂に吉兵衛が吉原田圃で何者にか斬られなすつたといふ事だ」  
「エイトツ、夫は本當か」  
「偽りは云はぬ」  
「イヤ親切によく教へて下さいました」  
と鶉権兵衛はオツ取刀で駆け出して行く、後姿を見送つて権八クス／＼と笑つた

肥つてゐる奴を斬つた事がない、どの位の手應へがあるものか斬つて見やうか」  
斬つて見られる奴こそ災難だが、権八は殆ど狂氣の沙汰とも云ふべきでございませう、太郎吉の後を慕つて行つたが白晝の事なり、殊に往來繁き大通りだから流石に手練の権八も斬兼ねまして、見え隠れに附いて行く内に高輪の海邊へ出た、四邊を見ると幸人も杜絶えたから茲ぞと思つてツツ、刻みに近寄ると

「エイトツ」  
氣合諸共抜き打ちにツツと一文字、パチンと鞘に納めてそしらぬ顔で海を見てゐた太郎吉は少しも知らず盤臺を擔いだ儘品川の方へ急いで行く、権八もツツと後尾けて行くと品川を過ぎ品川の濱邊とある魚屋の前へ立ちました、

## 中土産



店理代平命生本日大最優最  
榮 盛 賀 志  
(三一二電)目丁四平

看護婦急派

の求めに應

じます

平町南町

看護婦會  
電話三〇七番

### 大倉屋商店

磐城セメント會社特約店

良品廉賣に勝る商略なし

確實敏捷はの生命なり

磐城平町五丁目 電話九番九九番

### 吉田眼科病院

平瀬屋町電話六番

眼科専門

院長 吉田 安雄  
醫學士 吉田 久雄

門 專

産婦人科  
花柳病科

◎入院隨意

### 井坂醫院

平町田町 電話五五九番

産婦人科 院長 木村寅次郎  
外科 醫學博士 内木宗八  
藥局 藥劑師 立番彌一

平町新川町十九

### 木村病院

電話一六四番

### 外科

門 專 線 光 X

### 上田外科醫院

平町南町  
電話一九二番